

特別支援学校 全国で3740教室不足

文科省調査で判明

障害のある児童・生徒 教室不足している」とが、通り公立特別支援学校 が、2日ほどにわからま の教室が全国で3740 した。文科科学会の調査

全日本教職員組合
(全教)中央執行委員会

村田信子さん

今回明らかになった全国の公立特別支援学校で不足教室数3740はとても大きな数字です。前回調査よりも悪化している特別支援学校の現状を表しており、文科省による数字を重く受け止めてほしいです。

同省は2024年までを「集中取組期間」とし、毎年までに解消が計画されている教室数を96のカ所としています。しかしこれは不足して

結果(2021年10月現在)
在籍するもの。

文科省が一冊公表した調査によると、前回調査(19年5月)と比較して、全国で教室不足が578増えました。

増えました。

この教室の割合にも満たない数字であり、期間も年の半だ

ても足りていません。

財政状況が厳しい自治体でも改善計画を具体化できるような国庫補助率引き上げなど大幅な財政支援を、早急に国には求めたいです。

私たち、制定された設置

基準を実効性あるものにする見直しも求めています。主な改善点としては、△在籍児童・生徒数の上限△1学級2名以上の教員配置△必要な特別教室の規定△通学時間の規定です。なにより既存校に設置基準を適用することを求めています。

立特別支援学校では現在、倉庫・準備室等の転用や教室・体育館などに間仕切りをして一時的な対応で授業を行っています。東京都で1203、埼玉県で1588、大阪府で542、全国では7125教室に上ります。

同省は教室不足の解消に向けて、「各設置者の取り組みを支援するため、公立特別支援学校の新增築等の施設整備に対し、優先的に国庫補助を行っている」などの対応をしていくとしています。